八戸市市民活動サポートセンター
「ふれあいセンター＜わいぐ＞」
情報誌
2024.10 月号 No.84

WAIGU

マスコットキャラクター「わいぐりん」

～もくじ～
●新規登録団体のご紹介……1
●編集委員が気になった
登録団体のご紹介……2
●わいぐ情報クリップ……3
●スタッフおすすめ わいぐライブラリィ……3
●助成金情報……4
●編集後記……4

★左：代表玉澤さん／中央：下田さん／右：井出渕さん

★インスタ QR

★展示会でのワークショップ（川柳とは）

★ポスターボード

●新規登録団体のご紹介●

八戸文化おが～れ会

令和６年１月、八戸市立第二中学校でＰＴＡ活動を共にした同志で結成した団体、八戸文化おが～れ会です。

ＰＴＡ活動では学校行事のお手伝いのほか、キャリア教育の１つである「さわやか八戸グッジョブウィーク」が令和３年度で終了したことから、それに代わるものを考えました。子どもたちが自分たちのまちについて考え、主体的にまちづくり活動に参画する事業を計画し、中心街商店街の協力のもと、中心街の古くなったポスターボード（電線地中化で設置された分電盤の側面）のアップデート事業に取り組みました。

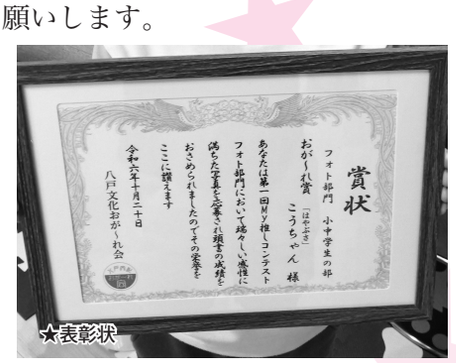
ポスターボードに何を掲示するべきか、まちが抱えている課題から各自が考え、子どもたちの豊かな感性を活かし、大きな絵を制作しました。郷土愛の醸成に寄与できたのではないかと感じています。（令和４年度「元気な八戸づくり」市民奨励金事業）

この成功体験を今度は八戸のまちづくりに生かしたいと、八戸文化おが～れ会を結成。今年度からは、子どもや若者が、自分が魅力に感じる「Ｍｙ推し」を、写真や川柳で表現する「フォトコンテスト＆川柳大会」を開催しました。

去る 10/19、20 の週末には、応募のあった作品を展示・表彰する作品展を開催しましたが、どの作品も素晴らしく、誰かに伝えたい１コマや大切にしたい風景が表現されており、ご家族様だけでなく、たくさんの市民に鑑賞していただきました。（令和６年度「元気な八戸づくり」市民奨励金事業）

子どもや若者の豊かな心を育て、まちの魅力を発信するツールとして定着するよう活動を継続していきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願いします。

★展示会内部



★表彰状

編集委員が気になった登録団体のご紹介

●八戸ジャズ楽団

代表　久保沢清吾さん

「大人から子供までジャズを楽しもう！」というコンセプトのもとに、2016年7月に結成しました。

David Matthews 校長先生とスタンダードジャズを中心に、練習に励んでいます。ジャズの演奏会は、2、3ヵ月に一度、主にジャズの館南郷で催しています。あとは、八戸市美術館のマエニワや、はっち、マチニワなど中心街で演奏することもあります。

また、今年は「八戸ジャズサミット2024」と題し、八戸市公民館で、自主企画を開催しました。ゲストとして、八戸市出身のジャズトランペッター類家心平さんをお招きして、クリニックしていただき、一緒に演奏もしました。今後も、「ジャズの街 八戸」として、市民に身近なジャズシーンを展開していきたいと思います。

（担当　住吉）

●労働者協働組合　ワーカーズコープ・センター事業団八戸・階上地域福祉事業所

代表　工藤克祥さん

八戸市内の事業所「ここロード」には 22 名が登録しています。作業は南部ほうき作り、南部菱刺し小物制作、よもぎ餅作りなど施設内での仕事や、老人ホームなどで介護補助や清掃、りんごの摘果作業などを行っています。

常々、何か持続して取り組むことができるものがないかと感じていました。お菓子作りが好きだったり、外販も楽しむことができる利用者さんとこ

れなら一緒にできると思い、キッチンカーを始めました。キッチンカーの内装も利用者さんと職員で一緒にコツコツ作り上げたもので思い描いていた形になっていると思います。

地域とのつながりを大事にしながら、福祉事業所を中心に、イベントなどに出店させて頂ければと思います。今後とも「ここロード」のキッチンカーをよろしくお願いします。

（担当　松原）

●八戸市鷗盟大学学友会 事務局

鷗盟大学学友会は、1981年1月、高齢化社会の到来にあたり、豊かな人生経験を活かし、新しい福祉社会の実現に寄与するとともに会員相互の一層の親睦を図ることを目的に設立。現在 1053 名の会員が活動しています。

主な活動として総合美術展（毎年11月）、芸能発表会（毎年1月）、グラウンド・ゴルフ大会（毎年 9 月）等の他、奉仕活動として種差海岸外来種（オオハンゴウ草）駆除作業（毎年 6 月）、大須賀海岸清掃ウォーク（毎年 10 月）を実施しています。掲載写真は今年 10 月 9 日、大須賀海岸ウミネコラインの碑から白浜海水浴場までの 2.3 キロを会員 130 名で美しい景色と会話を楽しみながらウォーク。波に打ち上げられた漁網、空き缶、ペットボトル等拾い集め環境美化に取り組みました。皆さんもぜひ鷗盟大学に入学され、学友会会員として一緒に活動をしてみませんか。

（担当　松原）

八戸圏域住民活動促進講座「協働のまちづくり研修会」

多世代共創のためのダイアログを体験しよう！

令和６年10月５日（土）13:30～16:00
八戸ポータルミュージアム「はっち」２階シアター２

話し合いの場をスムーズに進行するコツ、幅広い年代で協力するポイントが学べます！をサブタイトルに開催された研修会は高校生を含む30名以上の参加者がありました。

講師の遠藤智栄さんから、各世代に知り合いや友達をつくる、事業の見直しをして無理しすぎない、身の丈にあった事業や規模になどのヒントを他県の事例を含めてお話をいただきました。

ワークショップでは、「やってみたいな、こんな事！多世代協動視点も入れて」をテーマにマイプランを考えました。一人ひとりの発表後にグループの人から、世代を超えた色々なアイデアやアドバイスが出て、とても有意義な研修会でした。

［自主事業のお知らせ］

わいぐ交流会を開催します

●日時　令和６年12月８日（日）10時～15時
●場所　八戸ポータルミュージアム１Ｆはっち広場
和のスタジオ３Ｆ
●テーマ：つながり合い、深め合い、共にすすもう！
学生たちや新規登録団体、
長く活動をしている団体の活動紹介をはじめ
パネル展示・ワークショップと多彩な内容になっています。
たくさんの方のご参加をお待ちしております。

スタッフおすすめ わいぐライブラリィ

わいぐでは、住民活動に役立つ書籍や冊子を閲覧できます。
わいぐ登録団体の会員へは貸し出しもしています。

ごみ拾いをすると、人生に魔法がかかるかも♪

発行所：あさ出版
著者：吉川充秀
発行：2022年12月22日

大反響！続々重版！　メディアでも話題！
Yahoo! ニュース アクセスランキング総合１位！「ゴミ拾いを「神様から褒められる一番偉い行動」と思い込む年商 47 億の社長が語る、幸せになる秘訣」
朝日新聞、NHK「ほっとぐんま630」、毎日新聞「ブックウォッチング」でも取り上げられました！誰でもできるゴミ拾いで人生を好転させることができる？一読の価値ある一冊です。

これだけは理解しておきたいボランティアの基礎

発行者：　日本橋出版
著者：　久米隼
発行：　2021年３月29日

本書ではボランティアとはなんだ？といった基本から、ボランティアのはじめかた、活動を行う上でのポイントといった、これだけは理解しておきたいというボランティアの基礎的な内容をなるべく端的に、かつ事例も交えながらわかりやすくまとめたボランティアの入門書としておすすめしたい一冊です。

助成金情報

※今回は、資金面ではなく、皆様の活動への支援についてご紹介します。

※その他の助成金情報は「わいぐ HP」でもご覧いただけます。

認定 NPO 法人サービスグラントによる「プロボノ」を通じた活動支援について

「プロボノ」という言葉をご存知でしょうか。「プロボノ」は、社会的・公共的な目的のために、職業上の経験や専門知識を活かしたボランティア活動を意味します。本誌４面では、その時期に合った助成金情報を掲載していますが、今回は、活動への支援についてご紹介します。

市民の誰もが安心して暮らせる社会を実現するためには、NPO、地縁組織、企業、学校、行政などの多様な主体が、連携・協働して、地域の課題に自主的、自立的に取り組んでいくことが必要であり、その主体の１つとして、近年「プロボノ」が注目されています。職業上の経験や専門知識を持った社会人ボランティア（＝プロボノ支援者）が、支援を必要としている NPO や地縁組織と一緒になってプロジェクト（依頼内容）に取り組んだり、側面から支援したりする仕組みや、両者をマッチングするオンラインプラットフォームが確立してきました。

青森県では、平成 30 年度から令和５年度まで「青森プロボノチャレンジ」を実施し、プロボノ支援者とのマッチングサービス「ＧＲＡＮＴ（グラント）」を通じて、県内 NPO 等のホームページのリニューアルや子ども食堂のロゴマークやチラシのデザイン、運営マニュアルの作成など、27 団体の支援につなげてきました。

令和６年度になり県事業は終了しましたが、ＧＲＡＮＴのサービスは変わらず利用できるため、わいぐでは、登録団体への支援の１つとして、「プロボノ支援」を取り入れていきたいと考えています。申請や支援はオンライン上でのやり取りになりますが、その分、臨機応変でタイムリーな対応が可能ですし、わいぐがコーディネーターとなって、団体のニーズとＧＲＡＮＴやプロボノ支援者とのつなぎ役となって、プロジェクトの進捗管理を行います。

登録団体のみなさまが、日々の活動の中で感じる「こんなことができたらいいな」や活動での困りごとはありませんか？サービスグラントホームページには、プロボノ活用事例が続々と掲載されています。プロボノ支援者の支援により、会員だけでは解決できなかったことや、人手が足りず手付かずであった課題に取り組んでみてはいかがでしょうか。

●（参考）SERVICE GRANT ホームページ➡

●お問い合わせ先⬇

八戸市市民活動サポートセンター「ふれあいセンターわいぐ」

編集後記

「わいぐ」には、現在 208 団体が加入し、組織の大小を問わず、老若男女それぞれが地域活動をしております。

皆さんの小さな活動を光にたとえれば、その光が自身の周りを一燈照隅へ、そして地域が万燈遍照で活性化される活動だと思います。

今後こうした多くの団体活動を皆さんに紹介して共有し連携できればと思います。

何か情報がありましたら事務局までお知らせください。お待ちしております。

（住吉）

～編集発行～
八戸市市民活動サポートセンター
「ふれあいセンター わいぐ」

●編集●
公募編集委員＝松原新一・
佐々木彩子・黒澤美智子・住吉治彦
わいぐスタッフ

〒039－1166
青森県八戸市根城八丁目８－155
八戸市総合福祉会館
（はちふくプラザ　ねじょう）３階
TEL　0178－73－3311
FAX　0178－73－3312
E-mail support@waigu.info
HP　https://www.waigu.info/

facebook
（八戸市市民活動サポートセンターわいぐ）で検索
⇧こちらもご覧ください

⇦わいぐの HP はこちらからも見ることができます。
わいぐ HP

～「わいぐ」という名前について～

青森県南部地方の「私、行く（わぁいぐ）」という方言が元になっています。「市民が積極的に社会の問題に取り組むきっかけの場所になるように」という願いが込められています。

八戸市市民活動サポートセンターふれあいセンターわいぐは、指定管理者企画集団 With you が管理・運営しています。